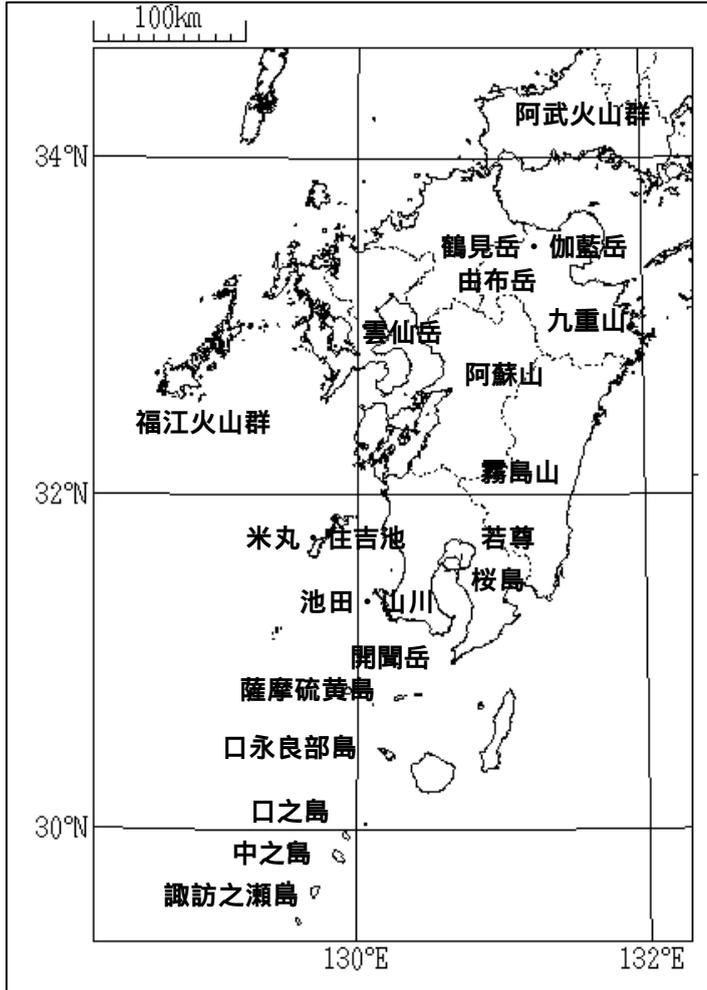


九州地方の火山活動解説資料(平成 16 年 5 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

山口・九州地方の火山



- ：噴火した火山
- ：観測データに変化があった火山
- ：解説を記載した火山
- ：その他の火山

：桜島(火山活動度レベル 2)

噴火活動は 15 日から 24 日にかけてやや活発でした。月間の噴火回数は 10 回、うち爆発的噴火は 5 回でした。1 日に発生した爆発的噴火では、少量の噴石が 6 合目まで飛散しました。

：諏訪之瀬島

4 月 28 日から 5 月 2 日にかけて火山活動が活発になり、火山性連続微動が発生しました。爆発的噴火は 1 日に 35 回、2 日に 4 回、計 39 回発生しました。

：阿蘇山(火山活動度レベル 2)

火山活動は、やや活発な状態が続きました。中岳第一火口の湯だまりの量は、3 月 16 日から約 3 割の状態が続いていましたが、降水の流れ込みにより、18 日に約 4 割に増加したのを確認しました。湯だまり内では高さ 5 m 程度の小規模な土砂噴出や噴湯現象が発生しています。

孤立型微動は日に 100 回前後とやや多い状態で推移しました。また、火山性連続微動が断続的に発生し、13 日以降継続しています。

：霧島山

御鉢火口の噴気活動は低下傾向ながら、依然やや活発な状態が続いています。6 日には

火口縁上 500m の高さまで噴気が上がっているのを観測しました。御鉢付近では 5 日に継続時間 1 分の短く振幅の小さい火山性微動が発生しました。火山性地震は少ない状態で経過しました。新燃岳の火山活動は、静穏な状態で経過しました。

：薩摩硫黄島

火山性連続微動がときどき発生するなど、火山活動はやや活発でした。集落で降灰はありませんでした。

：口永良部島

火山性地震は 13 日までやや多く、その後少なくなりました。火山性微動の発生回数は 2 回と少なくなりましたが、火山活動はやや活発な状態で推移しました。

: 九重山、雲仙岳(火山活動度レベル 1)
火山活動に大きな変化は認められず、静かな状態が続いています。

火山情報発表状況

火山名	情報名	発表日時	概要
阿蘇山	火山観測情報第 27 号	7 日 15 時 00 分	孤立型微動は 2 日までやや多く、3 日以降次第に減少しています。4 月 12 日から発生している火山性連続微動は本日も継続しています。中岳第一火口の湯だまりの量は約 3 割で、湯だまり内の数ヶ所で土砂噴出が観測され、高さの最高は中央部付近で約 5 m でした。
	火山観測情報第 28 号	14 日 11 時 00 分	孤立型微動は増減を繰り返し、日に 100 回以下で経過しました。火山性連続微動は 9 日にいったん収まり、13 日からふたたび発生しています。中岳第一火口の湯だまりの量は約 3 割で、湯だまり内の数ヶ所で土砂噴出が観測され、高さの最高は中央部付近で約 5 m でした。
	火山観測情報第 29 号	21 日 11 時 00 分	孤立型微動は増減を繰り返し、日に 100 回前後で経過しました。13 日から発生している火山性連続微動は本日も継続しています。中岳第一火口の湯だまりの量は降水の流れ込みにより、18 日の現地観測で約 3 割から約 4 割に増えたのを確認しました。湯だまり内の数ヶ所で土砂噴出が観測され、高さの最高は中央部付近で約 5 m でした。
	火山観測情報第 30 号	28 日 11 時 00 分	孤立型微動は増減を繰り返し、もっとも多い日は 108 回でした。13 日から発生している火山性連続微動は本日も継続しています。中岳第一火口の湯だまりの量は約 4 割で、湯だまり内の数ヶ所で土砂噴出が観測され、高さの最高は中央部付近で約 5 m でした。
霧島山	火山観測情報第 22 号	7 日 15 時 15 分	御鉢では火口縁を超える噴気がときどき上がり、噴気活動は消長を繰り返しています。地震・微動活動は低調です。

次回の火山活動解説資料の公表は 7 月 7 日(水)の予定です。

各火山の詳細については、気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)でご覧いただけます。
気象庁 HP 「気象・海洋・地震・火山の資料」「火山の資料」 定期刊行物「火山活動解説資料」
(http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm)